

## **[審議] 第 2 号議案**

# **2022 年度 決算報告**

## **1. 決算概要**

## **2. 財務諸表**

### **2.1. 貸借対応表、正味財産増減計算書、収支計算書**

2.1.1. 総合計

2.1.2. 一般会計

2.1.3. 学生賞特別会計

2.1.4. 地震予知 MT システム研究特別会計

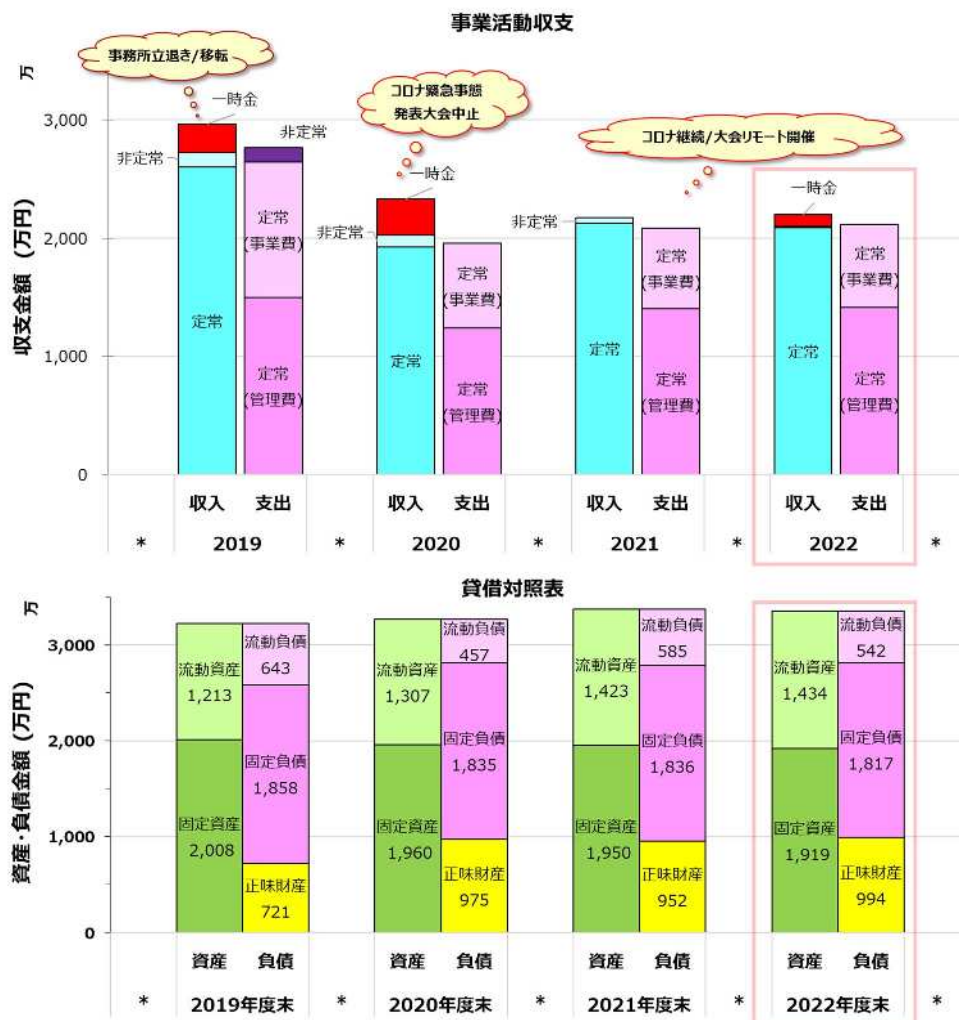
2.1.5. 田口賞特別会計

### **2.2. 収益事業損益計算書**

## **3. 監査報告書**

## 1. 決算概要

2022 年度、品質工学会は、一般会計と特別会計の合計で、総収支が約 54 万円の黒字、正味財産が約 42 万円増で着地しました。



**図 事業活動収支および貸借対照表 (2019～2022 年度)**

なお、品質工学会の会計は、一般会計と 3 つの特別会計で構成されています。

一般会計は活動全般に関わるものですが、特別会計は田口賞、学生賞、地震予知 MT システム研究に関わる事業に限定したもので、それぞれを目的とした基金より成り立っているため、一般会計とは独立した会計として運用しています。

但し、特別会計 3 会計の収入または支出の総額(約 7 万円)が、全 4 会計合計(約 2,200 万円)の 0.5%にも満たないことから、本決算報告では「総合計」の財務諸表(貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、収益事業損益計算書)からのトピックスを報告します。

個々の会計の詳細についてはそれぞれの財務諸表(別紙)を御参照ください。

なお、会計方式は、将来、公益法人へと移行することを念頭に、公益法人方式を採用しています。

### 1.1. 「総合計」の財務諸表より

#### 1) 収支状況……収支計算書より

収支は、学会としての通常活動に関する【事業活動収支】、特別会計を含む積立とのやり取りについての【投資活動収支】、納税関連の【財務活動収支】および予備費から構成されております。以下順に、

① 【事業活動収支】：2022 年度は 64 万円の黒字となりました。

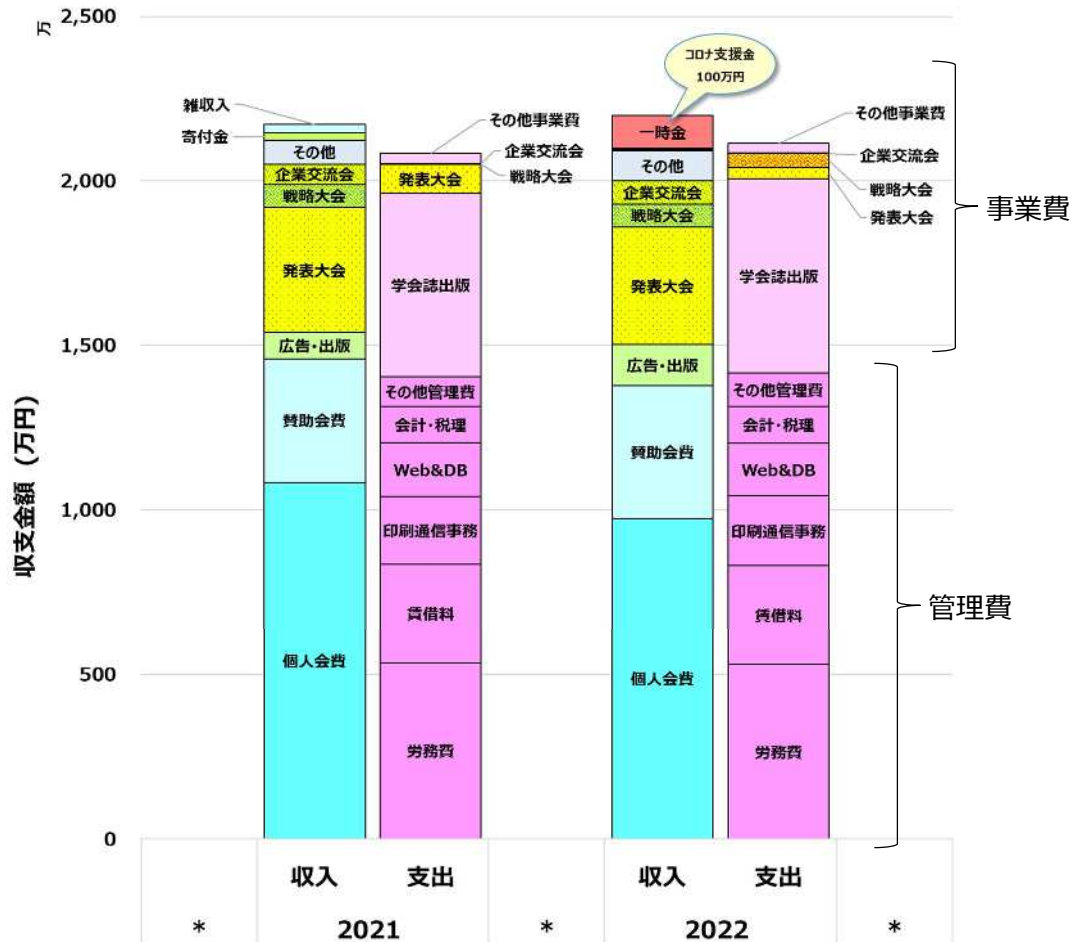


図 事業活動収支 (2021～2022 年度)

収入では、**個人会費**(正会員・学生会員)と**発表大会参加費**が減少傾向にあるなか、学会誌創立 30 周年記念号の名刺広告を含む**広告掲載料**、**大会予稿購読**そして**企業交流会参加費**が予算の倍以上でカバーでき、さらに**事業復活支援金**(100 万円)をいただけたことで対予算 99%、対前年 101%を確保できました。

一方、**支出**については、対予算 95%、対前年 100%に抑えることができました。**管理費**はほぼ予算通りでしたが、**事業費**に関しては例年同様に各部会/委員会の節約より対予算 85%と低い支出にとどめております。特に、研究発表大会支出については実質経費(前年の会場キャンセル料を除く)で対前年 20%強の削減ができました。なお、コロナによる制限の緩和により世間的にもリモートから実開催への移

行が進み、本年度は技術戦略大会がハイブリッド開催としたことから会場費が復活しております。

以上のように、事業活動収支は支援金のおかげもありまして、若干の黒字にすることができました。

② **【投資活動収支】**: マイナス 2 万円の収支差額としました。

収入である積立の取り崩しは、事業活動収支が若干ながら黒字であったため、貢献賞積立および特別会計の学生賞積立からそれぞれの贈賞に関わる経費分(15+6 万円)を引き当てるに留めました。

支出としては、貢献賞積立に同賞に対する寄付金 2 万円を、また棚卸廃棄損約 21 万円を計上し、計 23 万円としました。

③ **【財務活動収支】**: 法人税は例年同様に収益事業分の税引き前利益が僅少(収益事業損益計算書参照)であったため所得税の課税対象に至らず、法人住民税均等割の 7 万円のみとなりました。

④ **【当期収支差額】**: 【事業活動】、【投資活動】、【財務活動】の収支差額と【予備費】支出(0 円)を合計した**総収支**で、冒頭に記述しましたように、当期は 54 万円の黒字で着地できました。

⑤ **【繰越金】**: 前期からの 838 万円に対し、前項の【当期収支差額】54 万円を合わせた 892 万円を次期に繰越すこととしました。

## 2) 資産および負債状況・・・貸借対照表より

2022 年度末(2023 年 3 月 31 日)時点の資産総合計は、前年度末から 20 万円減じ 3,353 万円、正味財産は 42 万円増えて 994 万円となりました。

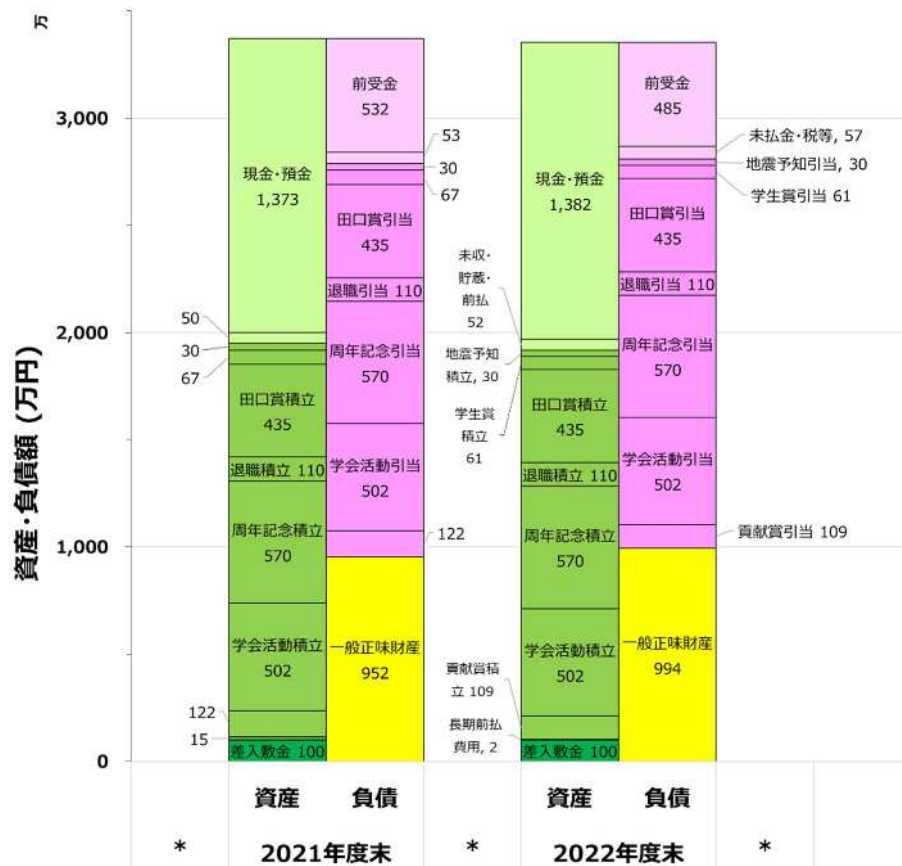


図 資産および負債状況 (2021～2022 年度) ※各年度末付け貸借対照表より

## 前年に対しての変動

【固定資産】 前項の【投資活動収支】に記述した貢献賞積立および学生賞積立の取り崩し、差入敷金の減価償却完了による長期前払費用の減額を合わせ計 31 万円減。

【流動資産】 在庫処理、次年度分会費の徴収状況等に当期収支の黒字を合わせ計 11 万円増。

【固定負債】 貢献賞積立および学生賞積立の引当により 19 万円減。

【流動負債】 主に前受金(次年度分会費の年度内徴収分)の減少により 43 万円減。

【正味財産】 以上の差し引きにより 42 万円増。

## 1.2. 特別会計に関する補足

## 1.2.1. 学生賞特別会計

2022 年度は応募 4 件に対する審査を実施し、うち 3 件に対して品質工学会学生賞を授与した事に関わる審査贈賞の経費として、積立から 6.3 万円を取り崩し、6.8 万円を支出しました(そのうち未払金 0.3 万円)。その結果、資産合計は前年より 6.5 万円減じ、63.9 万円となりました。

## 1.2.2. 地震予知 MT システム研究特別会計

2022 年度は、MT システム研究委員会の活動を再開しましたが、研究に関わる経費の費消はなく、事務費のみ 550 円の支出でした。その結果、年度末で資産合計 33 万円を維持しております

## 1.2.3. 田口賞特別会計

2022 年度も応募がなく審査が行われなかったため、受取利息収入 48 円と、事務経費 1,100 円の支出がありました。結果として、資産合計 483 万円を維持しております。

## 1.3. 収益事業損益の概要

品質工学会の事業には、収益事業と公益事業があり、前者に対しては納税義務があるため以下のように按分の上申告しております。収益事業の収入と支出(経費)の概要と損益は以下の通りです。

**収入** ①掲載広告料、②出版物収入の非会員購入分、③予稿集購読料の非会員購入分、④特別講座収入の非会員参加費分

**支出(事業費)** ①学会誌の掲載広告ページに係る原価および非会員売却部数の原価、②大会予稿集の非会員売却部数の原価(PDF の場合は原価なし)、③講座講師費の非会員人数割合分

**(管理費)** ①共通に係る管理費の収益事業収入割合分、②税理士報酬(申告料)

損益	収入合計	1,382,600
	支出合計	1,343,798
	税引き前利益	38,802

※ これより法人税は住民税 7 万円のみとなりました。

## **2. 財務諸表**

## **3. 監査報告書**